

景況レポート

2021年
夏号

Contents

1. 第73回伊勢崎佐波地区中小企業景気動向調査
2. 第184回特別調査
「中小企業の事業継続について」
3. 企業紹介
株式会社ダイシン工業



伊勢崎商工会議所

〒372-0014
群馬県伊勢崎市昭和町3919
TEL:0270-24-2211



アイオー信用金庫

〒372-8666
群馬県伊勢崎市中央町20番17号
TEL:0270-30-5001

I 全業種(回答366社...回答率97.3%)

業況判断D.I.は、3期連続で改善も、来期は慎重な見方

●今期(2021年4~6月期)の業況

今期の全業種の業況判断D.I.は△8.2と、前期との比較で29.8ポイント上回り、水面下ながら3期連続で改善しました。項目別の業況判断D.I.でも、売上高は△5.5(前期比+33.3)、資金繰りは△9.0(前期比+10.1)、採算△12.3(前期比+9.6)、従業員増減△2.5(前期比+1.1)と全項目で3期連続改善しました。業種別の業況判断D.I.においても、業種間のばらつきは大きいものの製造業、卸売業、小売業、建設業・不動産業、サービス業と全業種で改善しています。独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査(以後「全国調査」という。)との比較では、全業種の業況判断D.I.で全国調査を17.4ポイント上回ったほか、業種別でもすべて全国調査を上回る結果となっています。

●来期(2021年7~9月期)の業況

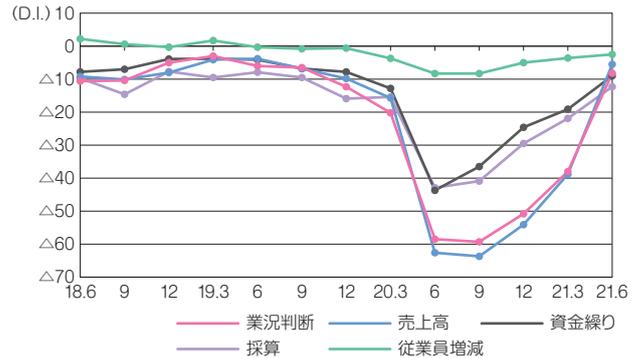
来期の業況判断D.I.の見通しは△12.1と今期との比較で3.9ポイント悪化すると予想しています。項目別業況判断D.I.見通しでは、売上高△11.0、資金繰り△11.3、採算△15.7、従業員増減△0.8と従業員増減を除き悪化しています。また、業種別の業況判断D.I.見通しでも各業種とも幅は異なるものの悪化を予想しており、先行きの不透明感も払拭できないことを背景に、業種によってのばらつきの大きな見通しとなっています。

■業種別天気図

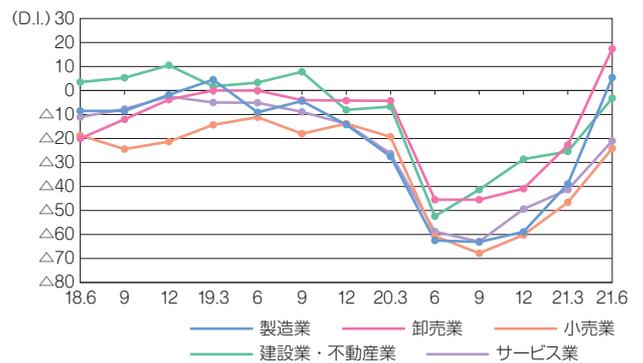
	前期 2021年1~3月期	今期 2021年4~6月期	来期予想 2021年7~9月期	全国調査 2021年4~6月期
全業種	 △38.0	 △8.2	 △12.1	 △25.6
製造業	 △38.9	 5.4	 1.8	 △18.6
卸売業	 △22.7	 17.4	 △4.3	 △20.2
小売業	 △46.6	 △24.1	 △24.1	 △35.5
建設業 不動産業	 △25.4	 △3.2	 △9.7	 △16.2
サービス業	 △41.3	 △21.0	 △22.2	 △28.3



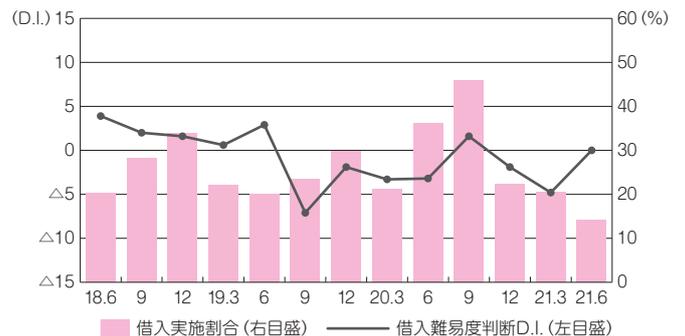
■項目別業況判断D.I.



■業種別業況判断D.I.



■借入実施割合・借入難易度D.I.



Ⅱ 製造業(回答112社…回答率97.3%)

■景況

今期の業況判断D.I.は5.4と、前期との比較で44.3ポイント改善し、2年3か月ぶりにプラスになりました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査を24.0ポイント上回りました。

業種別にみると、業種間で多少のばらつきはあるもののおおむね回復傾向にあります。来期は慎重な見方が大勢を占めています。

項目別にも、全項目で改善していますが、改善幅にはばらつきがあります。

来期の業況判断D.I.は1.8と、今期との比較で3.6ポイントの悪化を予想しており、経済活動の活発化への期待が高まっている一方で、新型コロナウイルスの感染状況等先行き不透明な部分も多く各項目とも慎重な見通しになっています。

■業種別の状況

【輸送機械】

業況判断D.I.は、0.0と前期比54.5ポイント改善し、大幅な改善となっていますが、来期は△28.6と28.6ポイントの悪化が見込まれており、半導体不足による生産活動の停滞が懸念されています。

項目別では、売上、採算ははじめ各項目とも改善していますが、来期については採算が△28.6と今期比28.6ポイントの大幅な悪化を予想しているのが特徴的です。

経営上の問題点では、「原材料価格の上昇」、「原材料の不足」、「従業員の確保難」、「需要の停滞」がそれぞれ12.5%で多くなっています。

【機械器具】

業況判断D.I.は、△13.3と前期比22.0ポイント改善し、さらに来期は△6.7と更なる回復が見込まれています。

項目別では、D.I.は各項目ともおおむね改善していますが、採算については△40.0と前期比△4.7ポイントと厳しい状況が続いています。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」が最も多く、次に「生産設備の不足・老朽化」、「製品ニーズの変化への対応」となっています。

【金属製品】

業況判断D.I.は、26.3と前期比53.2ポイント上回り大幅に改善しています。来期の業況判断D.I.は、10.5と今期比では15.8ポイントの悪化とはなりますが、依然プラスを維持しています。

項目別にも、すべての項目で改善していますが、売上は21.1と63.4ポイントの大幅な改善になっているものの、採算は△10.5と8.7ポイントの改善にとどまり、項目間のばらつきは大きくなっています。

経営上の問題点については、「需要の停滞」、「原材料価格の上昇」、「取引条件の悪化」の順となっています。

【金属プレス・メッキ】

業況判断D.I.は、7.1と前期比47.1ポイントと大幅に改善し、来期はさらに21.4と着実な改善が見込まれています。

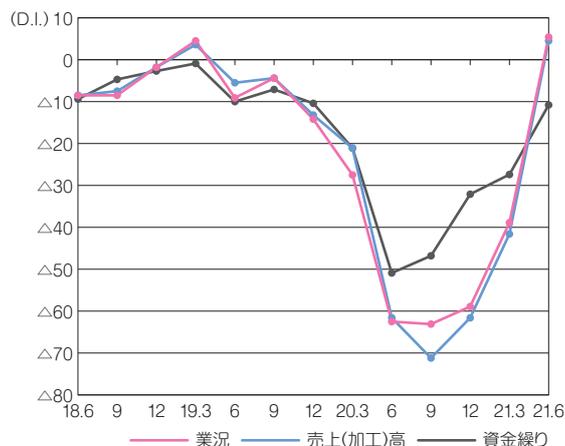
項目別にも、従業員を除き各項目ともD.I.はマイナスを脱しており、来期のD.I.については従業員を含め0またはプラスが継続され、好調が持続される見込みです。

経営上の問題点については、「需要の停滞」が34.5%と最も多く、「原材料価格の上昇」20.7%、「従業員の確保」10.3%となっています。

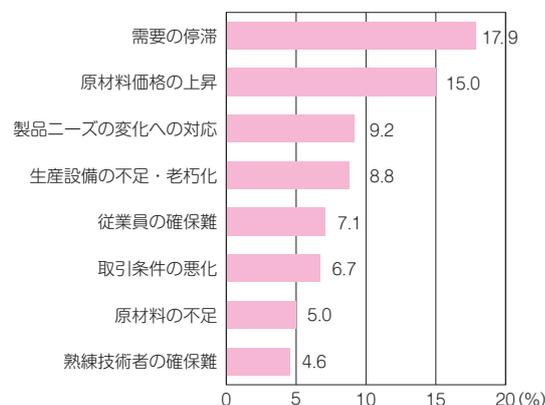
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 38.9	5.4	1.8	△ 18.6
売上(加工)高	△ 41.6	4.5	5.5	△ 10.7
資 金 繰 り	△ 27.4	△ 10.8	△ 11.8	△ 13.9
採 算	△ 29.2	△ 13.5	△ 14.5	△ 20.9
原材料仕入単価	15.9	27.3	22.0	44.7
原 材 料 在 庫	△ 15.0	△ 3.6	△ 4.6	△ 8.0
従 業 員 増 減	△ 2.7	△ 0.9	1.8	△ 5.7
設 備 操 業 率	△ 23.0	3.6	1.8	△ 11.1

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



【印刷】

業況判断D.I.は、0.0と前期と比較して57.1ポイント改善し、来期の業況判断D.I.も、0.0と同水準で継続する見込です。

【プラスチック】

業況判断D.I.は、14.3と前期比71.4ポイント改善しています。来期の業況判断D.I.も14.3と好調な状況が継続することが見込まれます。

Ⅲ 卸売業(回答23社…回答率92.0%)

■景況

今期の業況判断D.I.は17.4と、前期との比較で40.1ポイント改善し、2年ぶりにプラスとなりました。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査を37.6ポイント上回りました。

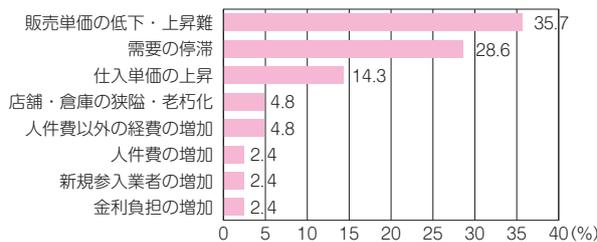
来期は売上高判断D.I.は4.3とプラスを維持するものの、業況判断D.I.は△4.3とマイナスに転じ、今期との比較で21.7ポイントと大幅な悪化を予想しています。

食料・飲料卸売業の今期の業況判断D.I.は、50.0と前期比92.9ポイントと大幅に改善しましたが、来期見通しでは、0.0とマイナス50.0ポイントの悪化で、振れ幅が大きくなっています。

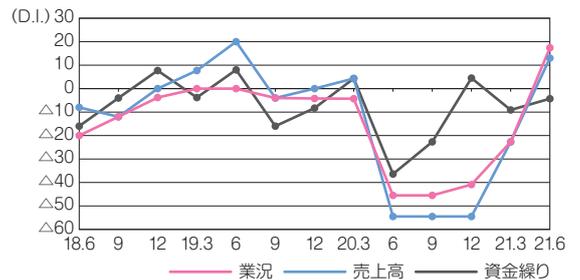
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 22.7	17.4	△ 4.3	△ 20.2
売 上 高	△ 22.7	13.0	4.3	△ 12.7
資 金 繰 り	△ 9.1	△ 4.3	△ 4.3	△ 9.7
採 算	△ 18.2	0.0	△ 8.7	△ 18.7
売 上 単 価	4.5	4.3	4.3	3.7
仕 入 単 価	4.5	30.4	21.7	28.4
在 庫 数 量	△ 4.5	△ 4.3	△ 13.0	△ 13.3
従 業 員 増 減	△ 4.5	0.0	0.0	△ 5.3

■経営上の問題点(複数回答)



■主要業況判断D.I.の推移



Ⅳ 小売業(回答87社…回答率97.7%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△24.1と、前期との比較で22.5ポイント改善しました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で11.4ポイント上回っており、厳しい状況ながらも改善幅が大きくなっています。

項目別では、概ね回復傾向であり、特に売上高D.I.は△18.4と前期比30.5ポイント改善していますが、採算は前期比10.1ポイント改善、売り上げ単価4.3ポイント改善と売上高の改善が収益の改善には直結しない見込みです。

来期の業況判断D.I.は△24.1と、今期との同様であり、回復傾向も足踏み状態が継続する予想になっています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 46.6	△ 24.1	△ 24.1	△ 35.5
売 上 高	△ 48.9	△ 18.4	△ 26.4	△ 26.3
資 金 繰 り	△ 15.9	△ 14.9	△ 14.9	△ 24.1
採 算	△ 27.3	△ 17.2	△ 21.8	△ 36.3
売 上 単 価	△ 27.3	△ 23.0	△ 24.1	△ 22.6
仕 入 単 価	8.0	10.3	12.6	16.3
在 庫 数 量	△ 16.1	△ 16.1	△ 13.8	△ 18.6
従 業 員 増 減	△ 4.6	△ 5.8	△ 2.3	△ 3.7

■業種別の状況

【飲食料点小売業】【飲食店】

飲食料点小売業の業況判断D.I.は、△29.6と前期比26.0ポイント改善していますが、飲食店の営業自粛に伴う売上減少の影響もあり依然厳しい状況が継続しています。

飲食店の業況判断D.I.は、今期・来期とも△33.3と最悪期は脱したものの先行き不安もあり、厳しい状況が継続しています。

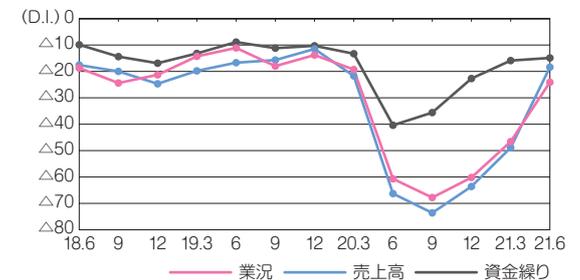
飲食料点小売業の経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」がトップを占め、「大型店・中型店の進出による競争の激化」、「仕入単価の上昇」と続きます。

【その他】

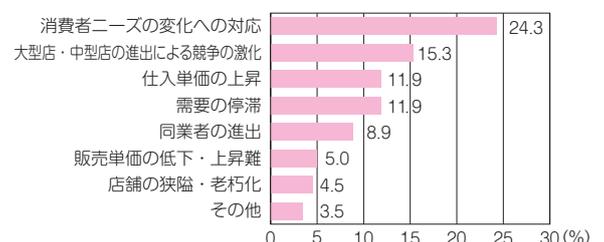
業況判断D.I.は、自動車販売、家電、燃料小売ともに、改善傾向にある一方で、医薬品・化粧品、スポーツ・文具は悪化しており、業種によってまだら模様となっています。

経営上の問題点は、主に「消費者ニーズの変化への対応」と「大型店・中型店の進出による競争の激化」であり、他業種と比較しても依然厳しい業況見込の先も多く中小小売店の苦境がうかがわれます。

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



V 建設業・不動産業(回答63社…回答率96.9%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△3.2と、前期との比較で22.2ポイントと改善し、全国調査比では、13.0ポイント上回りました。

項目別でも、従業員増減を除き改善していますが、改善幅にはばらつきがあり、売上はプラスに転じたものの、採算は小幅ながらもマイナスに留まっています。

来期の業況判断D.I.は△9.7と、今期との比較で6.5ポイントの悪化を予想しており、先行きは慎重な見方となっています。

■業種別の状況

【総合工事】

業況判断D.I.は、7.7と前期比19.8ポイント改善していますが、来期には△3.8と悪化が見込まれています。

項目別には、各項目とも小幅ながら改善していますが、来期は悪化を見込んでおり、先行きは慎重な見方となっています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」、「材料の入手難」がトップであり、「民間需要の停滞」、「官公需要の停滞」が続いています。

【設備工事】【職別工事】【不動産】

設備工事業の業況判断D.I.は、△10.0と前期比26.4ポイント改善しています。来期も△10.0と現状が継続される見込みです。

職別工事業の業況判断D.I.は、9.1と前期比52.0ポイントと大幅に改善していますが、来期は△10.0と業況は悪化の見込みです。

不動産業の業況判断D.I.は、△30.8と前期比13.6ポイント改善していますが、来期も△30.8と厳しい状況は継続の見込みです。

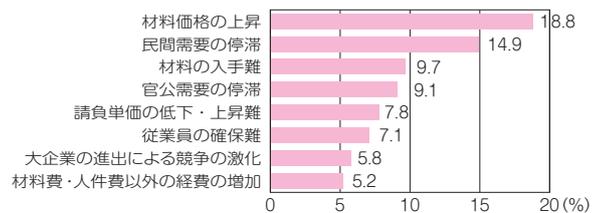
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 25.4	△ 3.2	△ 9.7	△ 16.2
売 上 高	△ 23.8	7.9	△ 11.3	△ 18.6
資 金 繰 り	△ 14.3	6.3	0.0	△ 3.7
採 算	△ 11.1	△ 3.2	△ 8.1	△ 21.7
受 注 額	△ 19.0	△ 3.2	△ 14.5	△ 25.8
材 料 単 価	4.8	30.2	27.4	47.2
従 業 員 増 減	1.6	0.0	0.0	△ 0.7

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



VI サービス業(回答81社…回答率98.7%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△21.0と、前期との比較で20.3ポイント改善し、全国調査との比較では、業況判断D.I.で7.3ポイント上回りました。

項目別でも、全体としては回復傾向ですが、売上高D.I.は△21.0と19.0ポイント改善したものの、採算は1.0ポイント悪化しています。

来期の業況判断D.I.は△22.2と、今期との比較でほぼ横ばいの1.2ポイントの悪化を予想していますが依然としてマイナス幅は大きく、不透明な状況は継続する見込みです。

■業種別の状況

【自動車整備】

業況判断D.I.は、△23.5と前期比と横ばいとなっており、サービス業全体と比較すると同水準となっています。さらに来期△5.9と改善は見込まれるもののマイナス水準は継続する見込みです。

項目別でも売上高D.I.は、△23.5と前期比横ばいのほか、採算は△17.6と17.6ポイント悪化しています。

経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」、「需要の停滞」で、自動車販売持ち直しの好影響は反映されていません。

【洗濯・理容】

業況判断D.I.は、△54.5と前期比36.4ポイント改善していますが、サービス業全体と比較すると33.5ポイント下回っており、来期は△72.7と18.2ポイント悪化する見込みで不安定で厳しい状況が継続しています。

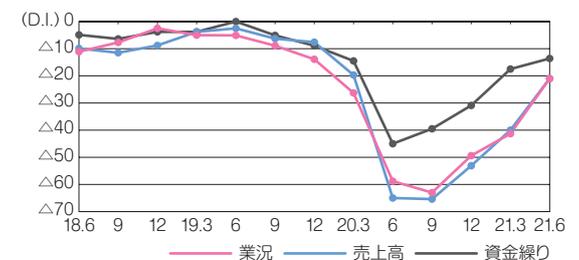
項目別でも売上高D.I.は、△54.5と前期比36.4ポイント改善していますが、採算は△45.5と横ばいで推移しています。

経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」、「需要の停滞」ですが、コロナ禍において本格的な回復が見通せない状況となっています。

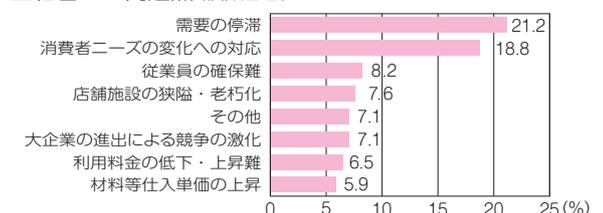
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 41.3	△ 21.0	△ 22.2	△ 28.3
売 上 高	△ 40.0	△ 21.0	△ 21.0	△ 15.8
資 金 繰 り	△ 17.5	△ 13.6	△ 17.3	△ 22.1
採 算	△ 15.0	△ 16.0	△ 18.5	△ 29.0
客 単 価	△ 20.0	△ 11.1	△ 4.9	△ 14.5
仕 入 単 価	△ 2.5	6.2	1.2	18.5
従 業 員 増 減	△ 7.7	△ 3.8	△ 3.8	△ 8.7

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



特別調査【中小企業の事業継続について】

1 事業継続について（現下の状況、業歴）

危機を感じている先が58%を占めますが、「全く」「あまり」感じていない先も4割超存在しています。

■ 現下の状況について



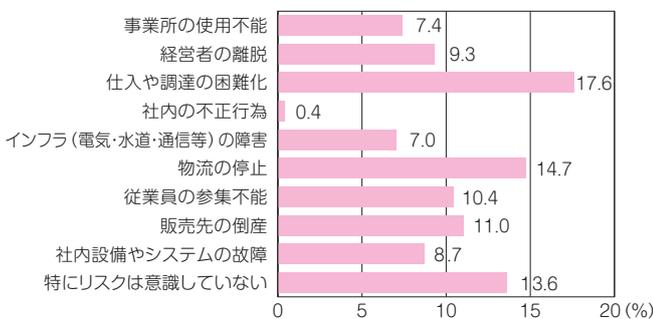
業歴は、30年以上50年未満が約47%で最も多く、50年以上の先も26%を超えています。

■ 業歴



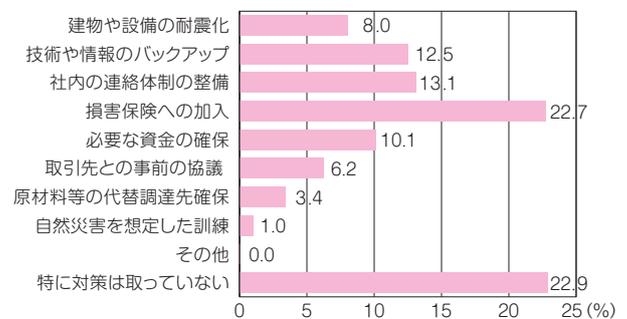
2 事業継続を困難化させる要因

事業継続を困難化させる要因は、多岐にわたっていますが、約14%の先で特にリスクを意識していないとしています。



3 災害に備えての対策

災害に備えての対策としては「特に対策は取っていない」が22.9%と最も多く、次に「損害保険への加入」が22.7%となっています。

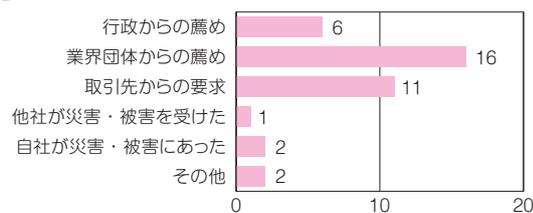


4 事業継続計画（BCP）

事業継続計画（BCP）の作成をしている先は、12.5%と少数に留まり、87.5%の先が作成していないのが実情です。

【BCPを作成（予定）している12.5%】

■ 実施のきっかけ



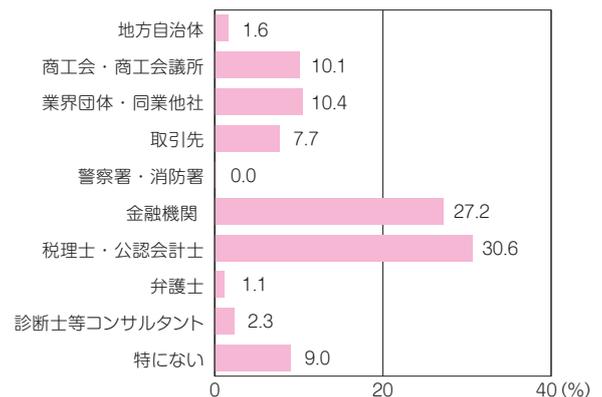
【BCPを作成していない87.5%】

■ 現在の状況



5 頼りにしている相談先

相談先としては、税理士・公認会計士が30.6%と最も多く、次に金融機関が27.2%を占めています。



今回の調査について

【調査方法】

調査時期	2021年6月
調査内容	① 今期の状況：前年の同時期（2020年4～6月期）と比較した今期（2021年4～6月期）の状況 ② 来期の見通し：前年の同時期（2020年7～9月期）と比較した来期（2021年7～9月期）の状況
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聞き取り
対象企業	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の事業所

* 毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

【調査対象企業数・回答企業数】

	調査対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	115	112	97.3%
卸売業	25	23	92.0%
小売業	89	87	97.7%
建設業・不動産業	65	63	96.9%
サービス業	82	81	98.7%
合計	376	366	97.3%

株式会社ダイシン工業



【沿革】

- 1979年2月 初代・血山雅造氏（二代目・山中一義氏の叔父）が当社設立し、創業。
- 2007年4月 二代目・山中一義氏（現代表取締役の実父）が代表取締役就任。
- 2012年2月 三代目・山中康義氏が代表取締役就任。
- 2012年4月 本社工場を現在の伊勢崎市日乃出町に移転。
- 2015年4月 伊勢崎市赤堀今井町にて第二工場が稼働開始、現在に至る。

【「提案型ビジネス」と「顧客に信用されるものづくり」の展開】

当社は、金融機関向け機械(バンクマシーン)部品、印刷機器、産業用ロボット用部品、ドライブシミュレーター等の精密機械部品加工業を行っております。

代表取締役である山中康義氏は40歳と若く、意欲に溢れた経営者で、「知識・技術・経験の社内共有が業務を発展させる。」という信念を持ち、この信念のうえにIT・AIをも駆使し、全社挙げて「提案型ビジネス」を展開できる体制を構築しております。

また、当社では社員教育の充実も図っており、社員



会社概要

- 設 立 1979年(昭和54年)2月
- 代 表 者 代表取締役 山中 康義
- 所 在 地 本 社:伊勢崎市日乃出町545-1
第二工場:伊勢崎市赤堀今井町一丁目59-2
- T E L 0270-27-4260(本社)
- 資 本 金 800万円
- 売 上 高 295百万円
- 従業員数 社員24名(正社員18名、パート社員6名)

事業内容 精密機械部品加工業



は社内外における研修に積極的に参加し、また、現場においてはベテラン社員が若手社員に基礎から丁寧に業務の指導を行っております。

こうした取組の蓄積により、社員の定着率も高く、顧客のニーズに応じて量産にも試作・小ロット生産にも柔軟に対応できる生産体制を構築していることが当社の強みとなっており、それが「顧客に信頼されるものづくり」へと通じております。



中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

●契約者貸付けの利用が可能
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

●共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で 最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

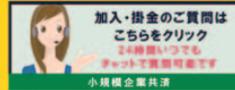
3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

Be a Great Small.
中小機構

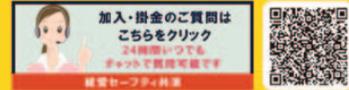
24時間・
365日
お問い合わせ
可能に
なりました

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。
詳しくは下記のQRコード又はホームページからご確認ください。



小規模共済

検索



経営セーフティ共済

検索

5S Shinkin Bank

Sustainable Solution Strategy Support Smile

5Sを掲げ、地域貢献するしんきんを目指します。

- Sustainable** 持続可能な＝いつまでも常に地元のみなさまとともに
- Solution** 解決＝地元のみなさまの悩み、不安など課題を解決
- Strategy** 戦略＝緻密な戦略を持って
- Support** 応援＝地元のみなさまの夢を応援する
- Smile** 笑顔＝あたたかいハートの笑顔で



新入社員研修会



アイオー・ビジネススクール



アイオー・ビジネスクラブ



新現役マッチング交流会



地元のソリューションをミライへ。
アイオー信用金庫

